

水防演習会場案内



交通機関

- 電車ご利用の場合
 - ・鴨宮駅(JR)下車 → 徒歩約20分
 - バスご利用の場合
 - ・小田原駅東口「1番」乗場から、箱根登山バス 城東車庫前行き乗車 → 今井下車、徒歩約5分
 - ・小田原駅東口「7番」乗場から、箱根登山バス 国府津駅行き乗車 → 小田原東高校前下車、徒歩約20分
- ※会場の駐車場数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主な演習参加機関

神奈川県	河港課、県西土木事務所小田原土木センター、県西土木事務所、三保ダム管理事務所等
小田原市	防災対策課、道水路整備課、消防本部、消防団
箱根町	総務防災課、消防本部、消防団
真鶴町	総務防災課、消防団
湯河原町	地域政策課、消防本部、消防団
開成町	地域防災課、消防団
国土交通省	京浜河川事務所
気象庁	横浜地方気象台
総務省	関東総合通信局
陸上自衛隊	東部方面混成団、第4施設群、第1高射特科大隊、自衛隊神奈川県地方協力本部
神奈川県警察	危機管理対策課、警備課航空隊、第二機動隊、小田原警察署、関東管区警察局神奈川県情報通信部機動通信課
神奈川県内広域水道企業団	総務課、飯泉取水管理事務所
民間機関	東京電力パワーグリッド(株)小田原支社、東日本電信電話(株)神奈川事業部、(株)ドコモCS神奈川支店、(一社)湘南建設業協会、小田原市土木建設協同組合、西さがみ建設協同組合、神奈川IFMネットワーク

- お問合せ
 - 神奈川県土木整備局河川下水道部河港課 千231-8588 神奈川県横浜市中央区日本大通1 電話番号 045-210-1111 (内線 6491)
 - 神奈川県西土木事務所小田原土木センター 河川砂防第一課 千250-0003 神奈川県小田原市東町 6-2-58 電話番号 0465-34-4141 (内線 510)

神奈川県 水防演習 検索 スマートフォンはこちらから

神奈川県土木整備局河川下水道部河港課ホームページ <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/index.html>

令和6年度

水防演習

洪水から守ろう みんなの地域

令和6年 5月26日 午前9時~正午(小雨決行)

場所 小田原市寿町五丁目地先 酒匂川スポーツ広場(小田原大橋上流)

主催 神奈川県(県西土木事務所小田原土木センター)
小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町

演習プログラム

- 9:00 1 開会式
- 9:15 2 演習開始
- 1 演習想定提示
 - 2 初期水防活動(情報伝達、ダム・堰放流警報)
(三保ダム管理事務所、神奈川県内広域水道企業団)
 - 3 水防工法演習
(小田原市消防団、箱根町消防団、真鶴町消防団、湯河原町消防団、開成町消防団、陸上自衛隊、(一社)湘南建設業協会、小田原市土木建設協同組合、西さがみ建設協同組合)
 - ・準備工法(土のう拵え工、杭拵え工、大型土のう拵え工)
 - ・洗掘防止工法(木流し工、シート張り工、T型マット張り工)
 - ・漏水防止工法(釜段工)
 - ・崩壊防止工法(杭打ち積み土のう工)
 - ・決壊防止工法(根固めブロック工)
 - ・越水防止工法(積み土のう工、鋼板積み土のう工、水マット工、大型土のう積み工)
 - 4 広域情報収集訓練(ドローン活用)
(県西土木事務所小田原土木センター)
 - 5 避難支援訓練(避難所開設、避難情報発令)
(小田原市)
 - 6 救出救助訓練(被災者の救出救助)
(小田原市消防本部、神奈川県警察、陸上自衛隊)
 - 7 排水ポンプ車出動要請訓練
(小田原市、小田原市土木建設協同組合、西さがみ建設協同組合)
 - 8 ライフライン復旧訓練(電力・通信復旧)
(東京電力パワーグリッド(株)小田原支社、東日本電信電話(株)神奈川事業部、(株)ドコモCS神奈川支店)
- 10:45
- 11:55 3 閉会式

展示・体験コーナー

- 降雨体験車の展示・体験乗車
(国土交通省京浜河川事務所)
- 自走架柱橋、高機能救助車、消防車両、水上オートバイ、水難救助用資機材等の展示
(陸上自衛隊、神奈川県警察本部、小田原市消防本部)
- 臨時災害放送局による放送、ハザードマップの展示・Web上の操作説明
(小田原市防災対策課、神奈川IFMネットワーク)
- 停電時等の分電盤シミュレーション、災害用伝言ダイヤル「171」の体験
(東京電力パワーグリッド(株)小田原支社、東日本電信電話(株)神奈川事業部)
- パネル展示
(三保ダム管理事務所、神奈川県内広域水道企業団、神奈川県 他)

炊き出し訓練

- 炊き出し(カレーライス)
(陸上自衛隊)

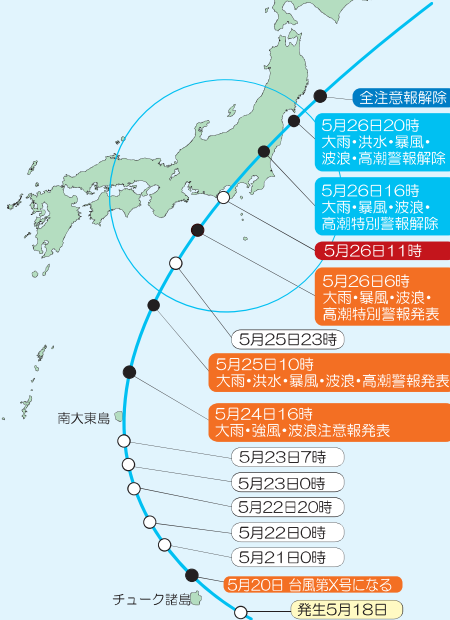
※本演習については、県ホームページ等からライブ配信でご覧いただけます。

※小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町のいずれかに大雨注意報又は洪水注意報が発表されている場合などは、水防演習を中止することがあります。

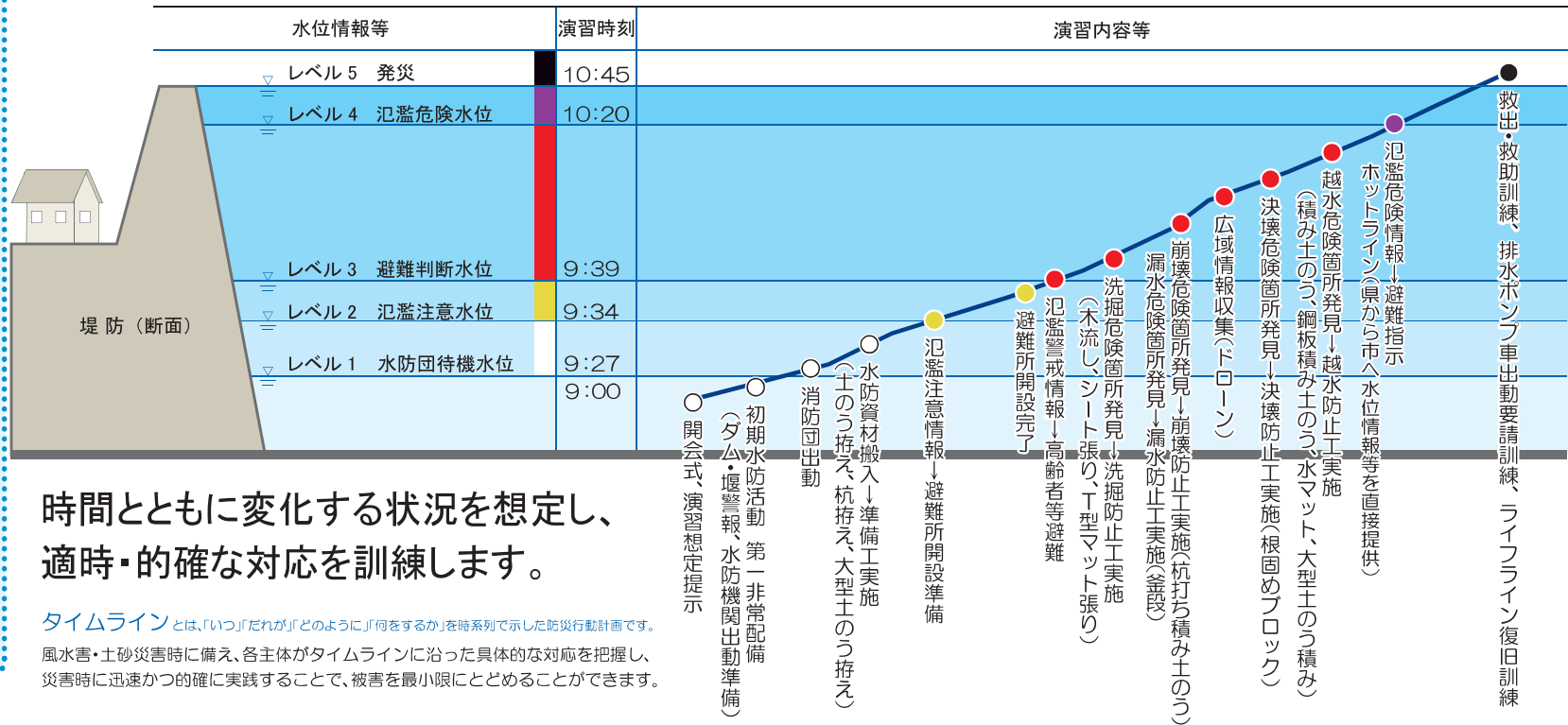
裏面あり

想定台風第X号進路図

中心付近の最大風速60m/sec、
15m/sec以上の強風域
半径500km



タイムライン(防災行動計画)に沿った演習の流れ



時間とともに変化する状況を想定し、
適時・的確な対応を訓練します。

タイムラインとは、「いつ」「だれが」「どのように」「何を」を時系列で示した防災行動計画です。
風水害・土砂災害時に備え、各主体がタイムラインに沿った具体的な対応を把握し、
災害時に迅速かつ確に実践することで、被害を最小限にとどめることができます。

訓練内容の紹介

地域で昔から行われてきた伝統的な水防技術から重機などを用いた近代的な工法まで、知識や技術を高めるため、さまざまな水防工法の演習を行います。

準備工法

土のう拵え工

水防工法の基本である土のうを作る作業です。



大型土のう拵え工

ショベルカーを使って大きな土のうを作る作業です。

杭拵え工

水防工法で多く使用される杭の先端をとがらせる作業です。



決壊防止工法

根固めブロック工

堤防の決壊を防ぐため、根固めブロックを護岸や河床に迅速に設置します。



洗掘防止工法

木流し工

堤防を掘ろうとする水の勢いを弱めるために、樹木に重しになる土のうを結びつけ、川の中に入れます。



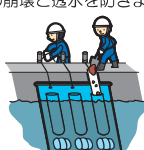
シート張り工

竹で補強した防水シートに、重しになる土のうをつけ、堤防から川表を覆うように広げながら川の中に入れます。これにより堤防の崩壊と透水を防ぎます。



T型マット張り工

重しになる土のうを備えた特殊なマットを、堤防から川表の中に入れます。これにより堤防の崩壊と透水を防ぎます。



漏水防止工法

釜段工

漏水の噴出口を中心に土のうを積み水を溜め、その水圧(川の水位と漏水口の水位差を縮小)により堤体土砂の流出を抑えます。



崩壊防止工法

杭打ち積み土のう工

木材等を格子状に組み、土台を作ります。その土台と堤防の崩壊箇所との間に土のうを積んで、堤防の崩壊を防ぎます。



越水防止工法

積み土のう工

堤防に土のうを並べ、さらに杭で土のうを串刺しにし、洪水が堤防を越えないようにします。



鋼板積み土のう工

パイプで支えながら、軽量鋼板を二列、堤防に打ち込み、囲いをつくります。その中に土のうと土砂を交互に詰めて、洪水が堤防を越えないようにします。



水マット工

特殊なマットを堤防に広げ、マットに重しになる水を注入し、洪水が堤防を越えないようにします。



大型土のう積み工

大型土のう拵えで作った大きな土のうを、ショベルカーで積む作業です。



山々と河川に恵まれた日本の国土。しかし昔から台風や集中豪雨の時期には、河川の氾濫などの水害に悩まされてきました。近年では局地的豪雨によって河川流域に限らず水害が多発しています。各機関や住民が一体で行う訓練によって、各主体、ひとりひとりの水防への意識と理解の向上を図ってまいります。

広域情報収集訓練

ドローンなどにより、現場上空からの情報収集を行います。



避難支援訓練

河川が増水し、越水の恐れがあるとの想定で、避難情報を発令し、広報します。



救出・救助訓練

河川の増水で取り残された被災者の救助訓練を行います。



ライフライン復旧訓練

避難所が停電し電話も不通という想定で、電力・通信などライフラインの応急復旧訓練を行います。



水防警報解除

各方面の安全を確認し、警報を解除します。

